

月刊 社会保険

1

2023 VOL.870

一般社団法人
全国社会保険協会連合会

令和4年度 年金委員功労者厚生労働大臣表彰

令和4年度 健康保険委員功労者厚生労働大臣表彰

【事業者・一人親方の皆さまへ】

2023年4月1日から危険有害な作業を行う事業者は一定の保護措置が義務付けられます

1月・2月ははたちの献血キャンペーン月間です

第4回「令和の年金広報コンテスト」の受賞作品を決定しました

日本年金機構からのお知らせ

令和4年度「わたしと年金」エッセイ審査結果について

令和4年度 年金委員功労者厚生労働大臣表彰	4
令和4年度 健康保険委員功労者厚生労働大臣表彰	6
【事業者・一人親方のみなさまへ】 2023年4月1日から危険有害な作業を行う事業者は一定の保護措置が義務付けられます	7
1月・2月ははたちの献血キャンペーン月間です	8
第4回「令和の年金広報コンテスト」の受賞作品を決定しました	10
日本年金機構からのお知らせ 令和4年度「わたしと年金」エッセイ審査結果について	14
労働法のポイント 第9回 雇用保険の基本手当 監修/社会保険労務士法人SKMオフィス	18
年金・健康保険委員活動報告 郡山社会保険委員会の活動について 一般財団法人太田綜合病院 副理事長 <small>おおた よしお</small> 太田 善雄	20
新たな時代の働き方改革 —AI分析でわかった トップ5%社員に共通する習慣 第9回 ポジティブなため息で仕事スイッチをONにする 株式会社クロスリバー代表取締役社長 <small>こしかわ しんじ</small> 越川 慎司	22
書評 <small>わたなべ つとむ</small> 渡辺 努 著/世界インフレの謎	24
企業との協働がもたらすもの —“がん患者”から“生活者”支援へ 第9回 科学的根拠に基づいた医療情報と、 生活に役立つ製品・サービス情報をワンストップで提供 ソレイワ 株式会社 NPO法人キャンサーリボンズ 編	25
認知症を予防する⑤ 第9回 サイトカインを用いた神経再生治療を認知症に応用 お茶の水健康長寿クリニック院長 <small>しらすわ たくじ</small> 白澤 卓二	28
社会保険Q&Aシリーズ 健康保険編 30/年金保険編 32/介護保険編 34/労働保険編 36 特定社会保険労務士 <small>すずき</small> 鈴木 ひろみ	30

—訂正とお詫び— 本誌2022年12月号(通巻869号)表紙および目次に「マイナンバー保険証を利用しませんか?」とあるのは「マイナンバー保険証を利用しませんか?」の誤りでした。お詫びして訂正します。

表紙写真 たけうちとしのぶ 竹内敏信事務所/イラストレーション みずらりあど 水森亜土/デザイン・編集協力・(有)フェイム/印刷・(株)エイエヌオフセット

表紙のこぼれ — 照る日・曇る日 「初日」

宮城県/石巻市



石巻市の沿岸にはよく足を運んだ。美しい海を照らす太陽の姿は圧巻である。日の出や日の入りの太陽が海に近づくとときには、じんわりと世界を赤く染める。

人はそれぞれこの光景に思い入れがあり、これまでの生き様を見つめ直す時間である。特に初日の出は、新しい年に新たな気持ちを太陽と一緒に眺めることで、清めるものともいえる。2023年が少しでも明るい時代になることを願いたい。

写真/竹内敏信 文/TAフォト&サウンドオフィス

© 本誌制作にあたっては、国等からの補助金等を一切受けておりません。

郡山社会保険委員会の活動について



一般財団法人太田総合病院 副理事長

おお た よし お
太田 善雄

●地域の紹介

郡山市は、福島県のほぼ中央に位置し交通の要衝として栄えてきました。首都圏から東北新幹線で約80分というアクセスの良さに加えて、東北道・磐越道の両自動車道が縦横に交差し、交通の利便性が良いことから人流と経済活動が活発で、東北地方第2位の経済規模を擁しています。歴史的には、1882年に完成した「安積疏水」(猪苗代湖から総水路130kmの疏水)が不毛だった原野を潤し、安積開拓事業により農地が飛躍的に拡大し、農業生産量が大幅に増えたことが地域発展の礎とされています。

●事業所の紹介

当院は、1895年に開設した「太田醫院」を前身とし、以来120余年にわたり地域の方々の声に応えながら歩みを進めてまいりました。現在は、太田西ノ内病院、太田熱海病院の2病院を中心に、介護老人保健施設や看護専門学校の教育施設などを運営し、救急医療、高度急性期から慢性期、在宅医療や介護サービス

まで、包括的な保健・医療・福祉サービスを提供しております。基本理念である「生命の尊厳」のもと、地域の皆様の健康保持および福祉増進を使命として地域社会に貢献してまいります。

●主な事業内容

郡山社会保険委員会は、郡山支部・須賀川支部・田村支部・石川支部の4支部からなる会員数409名の組織です。

主な事業として、①委員研修会(総会時)、②年金セミナー・健康講座(4会場)、③事務講習会(年2回4会場)、④年金委員研修会(4会場)、⑤年金受給説明会、⑥表彰伝達式・受賞を祝う会、⑦健康づくりハイキング、⑧健康づくりポウリング大会、⑨「委員必携」配付、⑩月刊「社会保険」誌の配付などがあり、各事業については、社会保険協会や年金事務所、協会けんぽ、年金受給者協会と共催するなど、効率的な開催と内容充実に努めながら計画し実施しております。

新型コロナウイルスの影響による事業中止が続いておりましたが、今年度は役員会(役員研修会)・総会(委

員研修会)・支部長会等の会議について、予定どおり開催することができました。また、ポウリング大会など中止した事業もありましたが、実施できた事業について「活動報告」として次のとおりご報告いたします。

◆年金セミナー・健康講座

社会保険協会郡山支部と郡山社会保険委員会が共催し、毎年9月に各支部役員が出席して支部ごとに4会場で開催し計87名が出席しました。

年金受給年齢が近づいている方々を主な対象者として、老齢年金についての年金講座、健康寿命を延ばすことを目指した運動指導の健康講座の内容で開催しました。

◆社会保険事務講習会

年金事務所・協会けんぽ・社会保険協会・委員会の4者共催で、算定基礎届の時期と秋期の年2回開催しております。今年度も算定期間は中止しましたが、秋期は10・11月に県内11会場で開催し、郡山地区内においては3会場で開催しました。

郡山会場は10月25日に開催し、コロナ前と比べると出席者は少なかつ



令和4年度 社会保険事務講習会/郡山会場

たものの、223名が出席し「適用関係」「健保給付関係」「年金給付関係」の3テーマについて研修しました。開会時には、役員が主催者を代表して挨拶を行っています。

◆健康づくりハイキング

3年ぶりの開催となった今年度の健康づくりハイキングは、36名が参加し、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を講じたうえで、バスで会津地方へ行ってきました。

ネイチャーガイドさんの説明を聞きながら紅葉彩る森林公園を約2時間散策し、江戸時代の町並みを今に



令和4年度 健康づくりハイキング

残す宿場町「大内宿」を歴史ガイドさんの案内で約1時間かけてウォーキングするなど、天候と紅葉にも恵まれて爽やかな錦秋を満喫しました。

●まとめ

令和4年3月3日には、初の試みとなるオンライン研修会を開催し、「年金制度の改正内容」をテーマに26事業所31名が参加しました。

年金委員と健康保険委員で組織される社会保険委員会には、明確な組織目的がありますが、会員一人ひとりのニーズにはとても大きな幅があ

ります。

より魅力ある委員会にしていくために、一人でも多くの方に参加いただくにはどうすれば良いか、具体的にどう改善すれば良いのか、求められている新しい事業はないかなど、一層の充実をめざし、常に事業を検証しながら知恵を絞り議論を続けることが大切だと感じております。

また、委員会にとって「企業の垣根を越えた交流」や「会員相互の親睦を深める」ことは重要な取り組みですので、人と人の結びつきを大切にしながら、今後も活動を続けていきたいと考えております。

●おわりに

全国の社会保険委員会の漸進をお祈りいたしますととも



一般財団法人太田総合病院/太田西ノ内病院

に、会員の皆さまの益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。活動報告とさせていただきます。

(郡山社会保険委員長・福島県社会保険委員会連合会副会長)